

第4回勝山市立中学校再編準備委員会 議事録

(1) 日 時：令和6年12月23日（月）19:00より（勝山市教育会館 第1研修室）

(2) 参加者：準備委員16名（6名欠席）、事務局11名、報道2名

(3) 内 容

1. 部会長あいさつ

2. 教育長あいさつ

3. 協議・報告事項

①総務部会について

②学校運営部会について

③PTA部会について

④施設整備部会について

⑤その他

《委員長あいさつ》（省略）

《協議・報告事項》 【出席状況により、報告順を変更して実施】

（各専門部会の進捗状況について）

③PTA部会

（スクールバスについて（案））

事務局 ・PTA部会の報告をする。資料は4-1と4-2になる。スクールバスの運行方法等について説明する。部会を2回やっていてもとともと昨年度から現行の路線バスルートの基本として調整してきた。12月4日の第2回PTA部会においても基本的な考え方は変わっていない。朝1便、夕2便を運行する。対象者も変わっていない。前回は10ルートだったが今回12月4日に提出したものは12ルート案を提示した。いままで各小学校校区から出る路線図を基本として運行していたが今回付け加えたのは市街地循環線である。各路線が市街地に入ってきたときに1.5km以上で乗る生徒が増える。オーバーフローした場合の対策をどうするか。福井勝山総合病院に朝行かれる一般の方の乗り残しがないように未来創造課と協議してまちなかの循環線を提案した。市街地循環線1は立川のほうから出て大仏の縦の通りをいってこせ整形外科を過ぎてはやかわのお菓子屋のところを左に曲がってジオアリーナに行く。その後福井勝山総合病院などに入っていく路線を1本追加した。中部中学校校下の方にも市街地循環線2を付け加えている。こちらも駅から出発して芳野、栄町、すこやかによってえちしんの縦の通りを過ぎて中部中学校の近くを過ぎて福井勝山総合病院を過ぎてジオアリーナに入る。この2便を追加している。1回目の会議で乗車時間が長くなると子ども達が大変だということで一番長くなる平泉寺方面については町内を通った後一旦勝山丸岡線ま

で下がってまた上がるという動きだったが勝山城博物館のほうへ出てファミリーマートを曲がったらずっと国道に出てジオアリーナに行く路線に変更した。以上が1回目と変わった点で部会で提案したときに平泉寺と北郷の時刻表を入れたものと路線図を見ながら委員の皆さんにご意見を聞いた。12月に入って他自治体のスクールバスを運行している運行会社に行って車両を見せていただいたり担当のところでスクールバスの運行経路や乗っている実態の聞き取りをしたりしてきた。皆さんが心配していたことはなく、中学生がしっかりしていて例えば乗り降りに時間がかかるかと思ったが1停留所で1分か2分で乗って座ってシートベルトをして出発できる。バス停までもほとんど親は来ていない。小学生のスクールバス停留所へ親の送迎があるが中学生は自分で来て乗ってマナーもいい。クマが出たときにはバス停まで迎えに来るという連絡はしている。マナーという意味でも心配はない。事務局としても安心した。

(PTA組織について)

(同窓会組織について)

- 事務局 ・続いて資料4-3をご覧ください。PTA部会に係る打合せの概要とあるがPTA組織が3中学校にある。令和8年度末で3中学校は閉校されるので今ある3中学校のPTAはどうするのかという話をしている。基本的には各中学校のPTAが主体となってやるものなのでこのPTA部会ではなく各会長に事前に集まっていただいて話を進めているものになる。進捗状況を資料にまとめた。2回ほど話をさせていただいた。一般会計、特別会計の扱いはどうするのかについては新中学校がスタートするときには何もしない0円ではどうかという話で新2、3年生、その子たちは3中学校に在籍していたので新2、3年生の生徒数分だけ各中学校から繰り越してはどうかという意見が出ている。ただし学校によって金額の大小があるので共通で合わせて人数割りをして繰越せたらいいのではないかという意見が出ている。学校によって残金に差があるので7年度、8年度の様子を見ながら調整していく。ということで話を進めている。7年度、8年度の役員はどう決めるのか。どの中学校も入学式の時に1年生の委員、2年生の委員、3年生の委員と3年分決めている。新中学校の組織はできていないので9年度になる3年生の委員を決められない。できたら基本的な骨格、会長、副会長、こんな委員会を設けて委員は何人と決めれば来年度に3年間決められる。無理な場合は2年間分しか決められない。その他の意見は書いてある通り、他地区もいろいろ考えてやっておられる。今後の方向は第3回を開いてはどうかとなっている。
- ・次に資料4-4をご覧ください。3中学校とも同窓会組織がある。会費も集めている。同窓会長に集まっていただき話していただいている。3中学校とも令和8年度で解散したほうがいいだろうとなっている。残金は新中学校に寄付する。お金にするか物にするかは相談する。その他として中学校には銅像とか記念碑が残っている。撤去方針が決まったら広報で知らせるとか市に一任するという一筆をとるとどうかという意見があった。タイムカプセルも埋まっている可能性があるのも広報等でお知らせできるといいということだった。どの中学校同窓会の名簿も残っていない。個人情報なので過去すべては追いきれない。全員に案内を出すのは難しい。新中学校の同窓会は新中学校の皆さんに任せるとなっている。同窓会組織は各中学校で違うので統一すべき部分と独自の部分もある。それぞれで進めていくという形になっている。

- 委員長 ・事務局から説明のあったことで質問があればお願いします。
- 委員 1 ・野向方面のところで薬師から龍谷を通してまちの方へ行くが北野津又の方はどのように対応しているのか。
- 事務局 ・路線図は基本的に色が塗りつぶしてあるバス停は令和 9 年度に生徒がいるという場所になる。野向線だと薬師神谷、深谷、龍谷、聖丸は生徒がいると想定されている。塗りつぶしてあるところは通るが路線バスと併用なので乗る方がいれば乗せる。薬師神谷から出て深谷、たけとう病院、野向小学校前、龍谷、龍谷から一旦上のほう龍谷第 2、北野津又の方へ行って下りてきて学校に入るルートになる。
- 委員 2 ・必ず前は通るとのことか。電話があつてそこによってくることが一部あつたかと思うがそういう対応ではなく必ず前を通して行くということか。
- 事務局 ・デマンド区間との兼ね合いだと思うが朝の便は定時定路線で走るのでデマンドにするとたとえば野津又で乗る人がいるいないで時間が変わってしまう。そのようなことのないように時間設定をする予定である。公共交通の担当と設定について確認をする。朝は薬師神谷で乗る。今日は北野津又にいるから 2 分間長く走って、聖丸でいつもより 2 分遅い、3 分遅いということはないようにする。必ずバス停ごとの到着時間は決めるので今日は早く行く、明日は遅くてもいいということはない。
- 部会長 ・追加で 12 月 4 日の会議の際には時刻表まで乗った形の資料を提示していただいている。一番遠い平泉寺地区、北郷地区に分かれて実際にその時間で通過できるかを話した。具体的にコース設定をするにあたって時刻を出しているのも所要時間もわかる。
- 事務局 ・部会長から話があったように前回、12 月 4 日の部会では平泉寺方面と北郷方面、2 つの便について未来創造課と協議をして時間を入れたものを作っている。そのたたき台をもとに皆さんに話し合っていた。平泉寺方面を勝山丸岡線まで下ろさずに国道の方で行くルートにして全路線が乗車時間 30 分以内になるように調整をしている。そのこともあり市街地循環線を 2 本入れた。市街地の生徒や一般の方を拾ってくることによって平泉寺は長く乗らなくてよい配慮をした。
- 委員長 ・他にご質問、ご意見はあるか。前までは思わなかったが今日はこちらに来るときに雪があつて子ども達は待つ場所とかどうなっているのか。勝山は除雪がいいと聞くのでその心配はいらないのか。
- 事務局 ・現在も朝は定時定路線で走っている路線バスがある。そのバス停を利用している。大きくはルートの的に変わっていない。業者とも話をしたが地区によっては 4WD でないと冬は心配だということで車両を考えている。全部の路線が 4WD だといいが地区限定になっている。バス停も新しくできるといいが現在のバス停を使っていただく。
- ・追加で今までの路線バスについては雪でバス停のあたりが待ってにくい場合は近くの開けたところで乗っていた。本当にたくさん雪が降る場合は今までもそのような対応をしていたので冬になると乗降の位置を柔軟にすることは可能。

①総務部会

(校章の選定について)

委員長 ・他にPTA関連でも質問等あるか。よろしいか。では戻って総務部会について事務局から願います。

事務局 ・第2回の総務部会は11月26日に学校運営部会との合同部会で開催した。総務部会案件として新中学校の校章のデザインについて協議をしていただいた。校章の選定については第1回の総務部会で選定方法としてデザイナーを決めた後、その方にいくつかの候補を出していただいてそれに対して小学校4年生以上から中学校3年生までの子ども達に投票をして決めていくという方針を決定している。この方針で選定したデザイナーのプレゼンを受けて12月20日から投票を行なっている。集計はある程度終わっているがこの結果をもとに1月17日に予定している総務部会において児童・生徒の意見を参考に協議いただく予定である。どのような案が提示されたかを説明する。資料1をご覧ください。まずデザイナーについて勝山市にゆかりのある方をお願いしよう、子ども達にデザインについての一定の説明をしていただける方をお願いしようと準備委員会の中でもご意見をいただいて成器南小学校の児童とか勝山高校の生徒にアドバイスしたいという勝山にゆかりのある方を設定した。市民の皆さんの学校に対するイメージを持っていただくために校名募集の際、いろいろな意見を書いていた。その資料を事前にお渡しし学校にける市民の願いをご理解いただいた。その結果4つの方針で案を考えていただいた。1つ目は勝山の景色ということ、2つ目は勝山の歴史ということ、3つ目は勝山の笑顔ということ、4つ目は勝山の声というコンセプトで提案をいただいた。案①は九頭竜川の流れとか勝山の山並みを代表的な産業である繊維産業である縦糸、横糸のストライプのイメージでデザインをしていただいた。合わせてバックには恐竜がかくれている。このデザインを考えていただく時にも中学校が目指す学校像や生徒像をベースにおいていただいてこのような生徒を育てたいからこのようなデザインという提案をいただいている。案②は勝山のKと中学校のCをモチーフにした立方体のデザインで色のついたところを見ていただくとわかると思う。これまでの勝山の歴史ということで南部中学校、中部中学校、北部中学校のNとCとHがこの中にかくされている。その中心にある核の部分が生徒たちという意味でデザインをしていただいた。案③は勝山の「勝」の字を笑顔に見立てている。中学校の3年間は笑顔を大切にということで作っていただいた。案④はデザイナー自身もチャレンジingなのだがということで勝山の「カツ」という言葉を漫画のイメージでデザインした。「カツ」には試合に勝つとか、カッ飛ばすとかカッコいいとかいろんな感情の中で視野を広げてほしいというものである。12月5日の交流会・説明会の折にデザイナー本人が直接6年生の児童と保護者の皆さんに向けてこのデザインの説明をしていただいた。説明している様子を録画したものを学校で視聴した上で投票していただいた。今後集計結果についてデザイナーとも話をさせていただいてどのようにしていくかも含めて協議して一定の考えを持ちながら第3回の総務部会に臨みたい。総務部会の決定を時間をとって3月に準備委員会に諮り市の教育委員会で決定するという流れで進めたい。

委員長 ・12月5日の様子はどんな感じだったのか。

事務局 ・最初に交流会をして子ども達が仲間づくりゲームをして雰囲気をつためる。そのあとこの説明をして最後に説明会だったが、比較的子ども達は「こういうものなんだ」と見ていたようだ。司会をして「2番がいい人はだれ」と聞いたが3人ほど手を挙げ

て発表した。最初の2人は2番がいいと発表したし最後の子は4番がいいと小学生らしい反応があった。

委員長 ・ その場だけではなくて先週20日までに投票が行われた。他にはどうか。

委員3 ・ 12月9日～12月20日の投票について具体的に教えていただきたい。たとえば1、2、3、4、その他とか、必ず1～4まで選ばないといけないのか、これじゃないものとか率直な意見が反映できるような投票だったのかを知りたい。

事務局 ・ 基本的には「4つの中から1つを選んでください」という形で依頼をした。小学校の投票は意見もつけていただいているが、「4つの中で選ぶとすれば」ということで回答があった。中学校はこの4つ以外ではだめなのかという率直な意見があった。こちらから指示をしたわけではないが対応に苦慮されて「あるとすればどうか」と聞かれたようだ。学校によって対応に差がある。2つの学校でかなりそれ以外のものがあるという反応をした数字になっている。それも併せて総務部会で提示して協議いただきたい。

委員4 ・ 第3回総務部会ではその意見を集約して決めていただきたい。PTAの中でも1～4ではなくそれ以外も選べるような設えになっているのかとか小学校4年や5年はテーマが理解できて自分たちが入るときに本当に子ども達がいいと選べる年齢というか思考なのか、親御さんの意見では中学校に入る年齢というか実感がわいたときにしっかり選んで自分らが決めた校章なんだというところがあるといいのではないかという意見もあった。この決定のスケジュールは適切かも踏まえて1月17日の総務部会で決めていただけるといい。

委員長 ・ いつも言っているがいろんな意見を聞いていると思うので今のように言ってもらえるといい。事務局はいかがか。

事務局 ・ 4つの中でそれなりに賛同してどれかに選べるといいと思ったが事務局としては想定外に意見が出てきたのでこの扱いについては慎重にやっていかないとはいけない。デザイナーの思いもあるので直接デザイナーにも投票結果を提示してどのような意見がいただけるのか相談しながら変な形で決まっていくことは避けていきたい。

委員長 ・ 一番最後に言った部分が大事かと思う。みんななんだろうと思いつき進んでいくのもどうかと思う。

委員5 ・ 12月5日の説明会だが地区の子ども会の集まりがあつて、6年生の保護者がいた。聞きに行つてどうだったかたずねたら前に聞いていたことはわかったが質疑応答はすごくわかったかという理解できなかったこともあると言っていた。聞いた方の感想についてはどのような形になるのか。PTAの方にも親御さんから質問があれば学校で集めて総務部会に持っていくと伝えてある。実際どのくらい満足して聞けたのかわからないが一部を伝えた。

事務局 ・ その時の説明に対して挙手をして発言をした人は4名。300名以上の中で手を挙げての発言は勇気のいることだと思うがそれでも発言されて答えさせていただいた。QRコードで「ここに質問を書いてください」という準備もしている。たくさん来るかと思ったが質問は5、6件でこれについては第4号の再編準備委員会だよりで回答と合

わせて皆さんに返していきたい。なかなか言いづらいので皆さんを介してお伝えいただくことは大変ありがたい。そのような資料がいただければと思う。

委員 6 ・何を質問していいのかは全体がわからないと出てきにくかったことがあると言っていた。その点のフォローをしていただけると保護者としてはありがたいという声があった。

事務局 ・第4号のたよりが当日使ったパワーポイントをそのまま順番に並べてこういう内容を解説を含めて載せているのでその中からわからないことがあればと思う。質問を受け付けるフォームも考えていきたい。

委員長 ・12月5日の件についてはアンケートはとっているのか。今日の説明会はわかったとか、楽しかったとか。

事務局 ・選択式のものはつけなかったのが感想として書いたものはいくつかある。何割の方が理解されたのかというような統計はとっていない。

委員長 ・皆さん、わくわくしたのか。

事務局 ・会の印象としてはやわらかい雰囲気でも楽しみのなったという意見もいただいた。企画者側としてはよかったと感じている。今ほどのように言えなかったとか質問自体がわからなかった方もいらっしゃると思うので引き続き聞いていく。

委員長 ・今後のこともあるので反映をさせるために今のことを生かしていくといい。後はいかがか。総務部会の報告についてはよろしいか。では、学校運営部会について事務局からお願いする。

②学校運営部会

(令和7年度中学校入学生交流会・勝山中学校説明会について)

事務局 ・今ほどの説明と若干だぶっていることもあるが第5回学校運営部会を11月26日に総務部会と合同で開催した。交流会・説明会、中高一貫教育推協議会について話し合いをした。最初に令和7年度中学校入学生交流会・勝山中学校説明会について報告をする。資料2をご覧ください。12月5日の2時から4時を使って3部に分けて交流会、校章のデザインのプレゼンテーション、学校の説明会という順番で行なった。冒頭に山口 茜選手から子ども達へのメッセージをいただいていたので皆さんにご覧いただければと思う。

(山口 茜選手のビデオメッセージ)

・このほか説明会では校舎については動画を使って解説しながら実際の校舎をイメージしていただいた。これについては好評だった。説明会を終えて質疑を受けて終了した。内容についてはホームページに当日の説明している内容がそのまま見れるようになっているし第4号のたよりにはQRコードもついているのでスマホをかざせばその説明自体がすぐに見られるようになっている。今後はこの内容について意見をいただいたように引き続き学校の先生方や皆様の質問や意見に対応しながらより理解を深めていただけるように進めていきたい。これが12月5日に終わって12月8日に物品販売を行なった。時間を分けて3中学校区にわけてそれぞれに保護者の方に来ていただいた。

2年間は現状の制服を着てもいいのだが男子で10名弱がその形で対応したいと聞いた。女子についてはほぼ新しい制服を選択した。余談になるが女子はスラックスとスカートはどちらでもいいとしたり、カバンは自分で選んでいいとしたりして選択の幅を広げたが保護者によってはどちらを着てもいいなら全部買う選択をした方もいる。負担が増えてしまったのかなと聞いている。

委員長 ・山口選手はいい。いろんな思いを語ってくれた。動画はホームページやユーチューブで見れないのか。

事務局 ・所属会社の広報の方が間に入っている。お金は払っていない。権利の問題で上げてもいいと言っていたけるといいがネット上にあげることを了解していただいていない。確認をさせていただきたい。

委員長 ・報告があったが質問はないか。

委員7 ・説明会に行った。学校運営部会ではスライドについて小学生に理解ができるかという心配があったが、当日のプレゼンではかなり小学生に寄り添った内容だったと思う。大変わかりやすかったと思う。

委員長 ・当日は思うままを素直に述べさせていただいて担当の方はご苦労様だった。今の話を聞くといいプレゼンだったことが伝わってくる。たまには今のようないい言葉もあるといい。他にはどうか。特に無いようだったら次に協議会の組織について事務局に願います。

(勝山市中高一貫教育推進協議会について)

事務局 ・学校運営部会関係で合同部会の際に協議した内容になる。資料3をご覧ください。新中学校は勝山高校の敷地に建てるということでその立地を生かしてメリットを最大限に生かすために連携型の中高一貫教育を進めようと考えている。これを進める場合には県と勝山市の教育委員会の規則の中にやることを位置づけるとされている。またどのような教育をしていくのかを決める場合には勝山高校と勝山中学校の校長が相談をして決める。その組織として中高一貫教育推進協議会といった会議を作ることが望ましいとされている。県内3つの地域でも先行して中高一貫教育をしているがそこにも同様の組織がある。勝山市についても福井県教委、勝山市教委、勝山高校、勝山市内の3中学校の4者で協議をする組織を立ち上げた。その図の中で一番上の推進協議会についてはそれぞれの団体の長に集まっていただいて方針や方向性を定めていく。具体的には中ほどにある5つの部会で実際にどのように連携していくかを決めていく。教育課程はほとんど教育計画すべてになるが特に行事をどう擦り合わせていくか、校時表をどのようにしていくのか、進路支援に関してはいわゆる接続に関すること、入試に関すること、キャリア教育に関することについて協議をしていただく。生徒支援については行事とか生徒活動や部活動をどう交流していくのか、生活ルールとかについてどのように考えていくのか、教科に関しては数学と英語について高校の先生が中学校に応援に入ることを謳っているのでもどのように連携していくのか、最後は探究活動を中学校と高校の核となる活動にしたいと考えているのでもどのように進めていくのか、それぞれの学校から代表の方に集まっていただいて協議をしていただく。その連絡調整を行うのが中高連携推進委員会になる。こういう組織で中学校と高校の教育

をどうつないでいくのかを考える。当面は3中学校があるので高校と合わせる前にまず3中学校をどうそろえるのかをしないといけない。今回入学する1年生は3年生になったときに同じ学校になるのでスムーズに統合できることを目指していくことが直近の課題になる。現在、会議を立ち上げて部会をそれぞれ始めたという段階で協議は今からになる。

委員長 ・質問等はないか。

事務局 ・別のところで準備委員会とこの会議とはどういう関係になるのかという質問をいただいた。準備委員会については学校が開校すると解散になる。この会議は高校と中学校の職員会議のようなものなので開校したあとも続いていくもので性格を異にする。学校の先生方ばかりで構成されている。ここで決めていくことについては今こういう状況で動いているということを準備委員会に報告させていただいて推進協議会についてこう進めるべきであるという皆様のご意見をいただいて伝えていくという形で連絡をとりながら進めていく位置関係だということをご理解いただきたい。

委員長 ・確認しようと思っていたところを説明していただいた。これについてはよろしいか。中高連携推進委員会の5部会（6名）というのは、教科が2つあるのでそれぞれに1名ということか。

事務局 ・そうです。

委員長 ・他はよろしいか。質問がなければ次にいかせていただく。施設整備部会について事務局に願います。

④施設整備部会

（地下横断歩道について）

（勝山市立中学校建設工事について）

事務局 ・2点、進捗状況を説明させていただく。1点目は今年8月に発注した地下横断歩道建設工事については9月の市議会で継続審査になっていて前回の準備委員会で説明させていただいた。先の12月市議会において工事請負契約締結の議案が提出され可決し本契約になった。もう1点は新中学校の校舎の建設工事は12月初旬に入札が中止になってしまった。改めて内容を精査して本日改めて入札の広告をした。この件に関しては報道等にもあり知っておられるかもしれないが大変ご迷惑をおかけしている。今後我々としても精一杯進めていくのでご理解をお願いしたい。現在の工事の進捗状況を写真で紹介する。旧市営体育館跡地から勝高のほうを見た写真でこちらが旧市営体育館の駐車場でこれが勝山高校の特別教室棟、右側にジオアリーナがある。工事関係車両が旧市営体育館跡地を通過して工事ゲートを通過してグラウンドを介して入っていく。こちらは中に入って先ほどの特別教室棟に防音のシートをかけてちょうどグラウンドの間にアカシア系の樹木が生えていたがすでに伐採している。次は右側に築山があったところの木は伐採して特別教室棟の東側にクラブ系の施設があったがすでに壊されている。先ほど言った地下横断歩道の工事に入るために国道との間に樹木があるが今日から一部伐採の準備を進めている。最後は勝山高校の正面の正門の写真になる。こちらが管理棟でその前に勝高生が使う仮設の昇降口を設置した。体育館のリノベーシ

ョン工事も進んでいる。仮設の昇降口は検査をして来年に入って高校生が使えるようになる。そうすると旧昇降口棟は壊して中学校の校舎が建つ方向で進んでいる。

委員長 ・ただいまの説明でご質問等あるか。よろしいか。では次はその他交流事業について事務局にお願いする。

⑤その他

(交流事業について)

事務局 ・小学校から中学校に上がる子はこれまで3つの小学校から1つになった。それでもなかなかなじめなくてということで不安になる子もいる。それが9校から一度に1校になっていく。極力子ども達が事前に交流して不安を解消したい、こんなにたくさん友達がいって楽しみだと思ってほしい。交流事業を今年度から予算化をしてバスを出して子ども達が移動しながら交流することを進めている。まずは小学校間の連携で今の6年生、5年生はまず3中学校に上がるのでいくつかの行事で交流を行なっている。一番上は荒土小学校の学習発表会に他の2校が来て鑑賞し感想を発表した。堂々と発表している姿がとてもいいと思ったし後ろで見ている荒土小学校の子も分け隔てなく接している感じを受けた。下は野向小学校に中部中学校区の村岡小学校と成器西小学校の子が集まってスポーツ大会をした。野向小学校の人数が少ないので不安にならないか心配したが楽しみにして生き生きと活動をしていた。次は先ほど説明した交流会・説明会の様子で市内9小学校すべての6年生が集まった。仲間づくりゲームをしてこのくらいの子が集まることを実感したかと思っている。お互いにグループを作って自己紹介をしたり好きなものを言ったりして思いを深めた。下の方は南部中学校に部活動体験で南部中学校校区の平泉寺小学校、成器南小学校、三室小学校の子が集まって交流した。次は中高連携になる。勝山高校が学びの祭典を実施しポスターセッションの形で個人探究したことを発表している。それを3中学校の3年生が参観した。2月には中学校2年生が勝高に行って勝高1、2年生の中間発表を参観することになっている。これについては中学校同士の交流もあるし来年中学校1年生になる皆さんは今以上に交流を深めて3年生になった時にスムーズに交流できるような配慮をしていきたい。

委員長 ・これは報告ということでよろしいか。これで予定されていた報告協議事項は以上になる。

事務局 ・お手元の再編準備委員会だよりを11月から発行を始めた。今第3号まで発行して4号を近日中に発行したいと思っている。第4号は先ほど説明したように説明会の内容や質問事項になっている。これはホーム&スクールという形で学校からすべての保護者がスマートフォンなどに受け取れるようにしている。

委員長 ・紙媒体ではなく、スマートフォンで見れるようになっているということか。

事務局 ・同様の内容をインターネット上に上げているのでご覧いただける。

委員長 ・では全般を振り返って何かあればお願いしたい。

委員8 ・今説明のあったたよりは毎回見ている。ホームページに2号までしかないので更新してほしいこととそこにたどり着くまでにリンクがあっていくにはいくがわかりにくい

ところにある。このたよりは見やすいので更新しながらトップページでも追加しましたというように見やすい形にしてもらえるといい。

委員長 ・これについてはどうか。

事務局 ・トップページで見えていただけるようにする。

委員長 ・他はいかがか。なければこれで終了する。事務局にお返しする。

事務局 ・報告という形で多くのことをお伝えした。いろいろといただいたご意見を踏まえながら各部会を進めていきたいと思う。今後とも委員の皆様にはご理解とご協力をよろしくお願いしたい。次回の再編準備委員会は3月を予定している。日程調整をしてご連絡する。それまでに部会も開催になると思うのでよろしくお願いしたい。以上で第4回勝山市立再編準備委員会は終わりにさせていただく。本日はお忙しい中、ありがとうございました。

資料1．校章の選定について

資料2．令和7年度 中学校入学生交流会・勝山中学校説明会

資料3．勝山市中高一貫教育推進協議会組織図

資料4-1．スクールバスについて（案）

資料4-2．勝山市立中学校スクールバス路線図（案）

資料4-3．PTA部会に係る打合せ会の概要

資料4-4．PTA部会に係る同窓会打合せ会の概要